

- 当社では、「機能性フィルム事業」国内3拠点（タツタテクニカルセンター/TTC、京都工場、仙台工場）において太陽光発電設備を新設・増設します。
- 併せて、再生可能エネルギー由来電力への切り替えや、CO₂クレジットの活用等によりCO₂排出量を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

1. 事業適応計画の実施期間

2022年9月～2024年3月

2. 生産性向上目標

炭素生産性を273.9%向上することを目標とします。

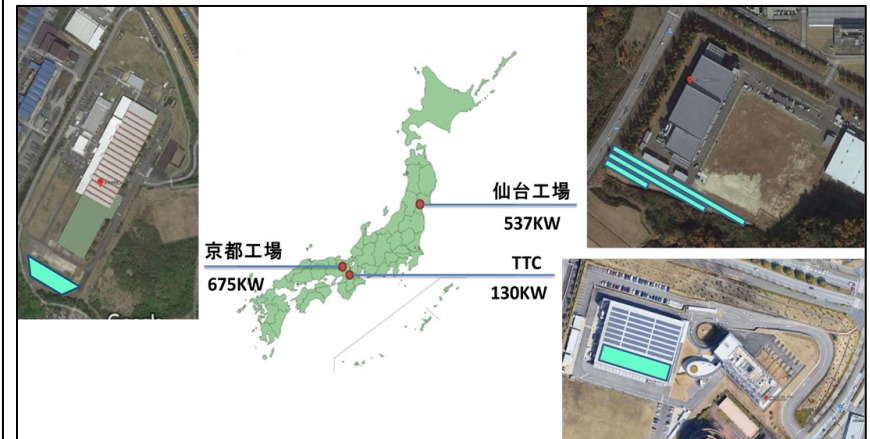
3. 前向きな取組の内容

生産工程効率化等設備として、「機能性フィルム事業」国内3拠点において、タツタテクニカルセンター/TTCに130KW、京都工場に675KW、仙台工場に537KWの太陽光発電設備をそれぞれ導入します。また、生産にかかる電力を再生可能エネルギー由来電力に切替、都市ガスをカーボンニュートラルLNGに切替またはCO₂クレジット相殺することにより、炭素生産性を273.9%向上させます。

4. 支援措置

税制措置（CN投資促進税制）

<太陽光発電設備配置図>



<太陽光発電設備導入例>

(TTC既存設備)

